

タイトル：作られた食糧危機～私たちはいつ満腹になるのか～

ファシリテーター（グループ名）：世界の不平等チーム

メンバー：浅間一元 山村亮 長崎春花 斎藤優介 呉座谷美可子 中野伊吹 小柳泰起 五十嵐麻衣

1：本ワークショップの要旨

世界には本当に全人口を飢餓から救うだけの食料はないのだろうか。いや、そんなことはない。私たちの生活がより便利になり、食べ物があふれている一方、未だ世界では9人に1人が飢餓に苦しんでいる。一体なぜこの差は生まれるのか。

そして、途上国の食料不足はどうしても避けられない運命なのだろうか。本ワークショップでは、食料という身近なものを通して、その背景にある飢餓の存在に気づいてもらう。その上で、なぜ飢餓が無くならないのか、何が飢餓を成り立たせているのか自分自身と関連づけて考えたい。

2：本ワークショップの目的(ともに考えたいこと、実現したいこと)

本ワークショップでは、飢餓を客観的に見ることで、飢餓の問題性とは何かを考える。そして、飢餓に対して誰がどのような責任を持っているのかを考え、最終的には、飢餓と自分たちの関係性を見出したい。

3：本トピックをとりあげる理由

世界の全人口を飢えさせない量の食料はあるにもかかわらず、未だ約8億人の人々が飢餓に苦しみ続けている。そういった問題には、世界のしくみが関わっている。そのしくみの中に、自分たちの生活も含まれており、このことを知らないことは大きな問題であると考えられるため。

4：担当の教員への要望

<事前>

特になし

<当日>

- ・アフリカの一部に支援を行っている、WFP（世界食糧計画）のスープを、ワークショップを行う会場で飲んでもらうことは可能でしょうか。
- ・スープの材料としてトウモロコシの粉、砂糖、塩、きな粉を使用するので、参加する生徒達のアレルギー等の有無について確認させていただくことは可能でしょうか。
- ・ワークショップの前に校内でスープを温めさせていただくことは可能でしょうか。

<事後>

特になし

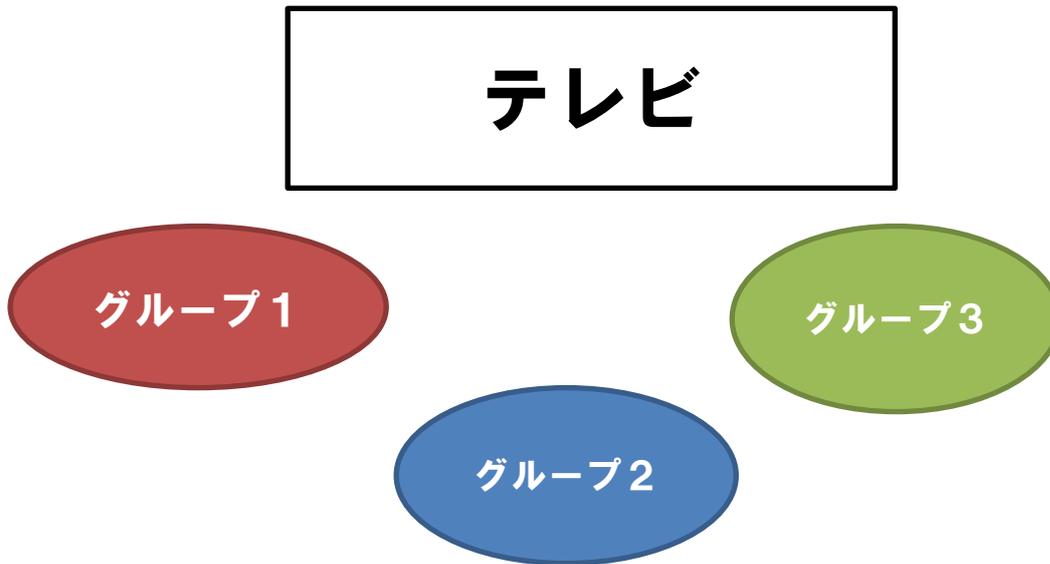
5 : 活動過程

(使用時間 : 90分 (85分+予備5分) 参加人数 : 未定)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	注意事項
はじめに (2分)	あいさつ 自己紹介				
アイスブレイク (10分)	手ほどきゲーム 一枚の写真を見てもらう。 ワークショップの目的の共有。	参加者に円になって、手をつないでもらい、人間知恵の輪を作る。それを協力してほぐす。 太った豚と痩せ細った子どもの写真を見て、何を思うか考えてもらう。	参加者の緊張をほぐす。 世界の残酷な現実を目を向けるきっかけづくり。	パワーポイント パワーポイント写真2枚	
導入 : 起 (10分)	飢餓のイメージをあげてみようワーク (5分) 発表 (2分) 飢餓の説明 (3分)	飢餓という言葉から連想されることを挙げる。 飢餓や飢饉の定義や違い、飢餓人口など飢餓についての基本的なことを説明する。	自分が飢餓に対してどのように考えているのかを知る。 飢餓について知ってもらう。	模造紙 ペン ポストイット パワーポイント	

<p>展開：承 (17分)</p>	<p>ハンガーマップゲーム</p> <p>説明(2分)</p> <p>実践(5分)</p> <p>発表(3分)</p> <p>説明(2分)</p> <p>休憩(5分)</p>	<p>食料が足りている地域と足りない地域を予想して、世界地図に色をぬってもらう。</p> <p>ザンビアの郊外と都市部の2枚の写真を見てもらい、同じ国内での地域の格差を説明する。</p>	<p>各国の飢餓人口割合についてハンガーマップを通して知る。</p> <p>同じ国内での格差を視覚的に認識する。また、“飢えた国”はないということを知ってもらう。</p>	<p>ハンガーマップ ペン 地図</p> <p>パワーポイント</p>	
<p>発展：転 (27分)</p>	<p>グループワーク1 「私たちを含む先進国の多くの人々が飢えないのはなぜか」(10分)</p> <p>発表(3分)</p> <p>説明(1分)</p> <p>グループワーク2 「何が原因で飢餓はなくなるのか」(10分)</p> <p>発表(3分)</p>	<p>なぜ私たちは飢えないのかを考えてもらう。</p> <p>世界のすべての食料を分配すれば余るという現実を知ってもらう。</p> <p>飢餓の原因や、飢餓の背景にある問題について考える。</p>	<p>飢餓の問題を考える前に、自分たちがなぜ飢えないのかを考える。</p> <p>世界のすべての食料を配分すれば余るということを知ってもらう。</p> <p>飢餓が起こる原因を客観的に考えてもらうことで飢餓の背景にある問題に目をむける。</p>	<p>ワークシート、 ペン</p> <p>ワークシート ペン ポストイット</p>	

6 : 会場のセッティング



7 : 使用する教材

ワークシート（模造紙）

ペン

パワーポイント

8 : 参考にした資料

アマルティア・セン（黒崎卓訳）『貧困と飢饉』（岩波書店、2000年）

スーザン・ジョージ（小南祐一郎訳）『なぜ世界の半分が飢えるのか：食糧危機の構造』（朝日新聞社、1984年）

勝俣誠『世界から飢餓を終わらせるための30の方法』（合同出版、2012年）

西川潤『データブック食料』（岩波書店、2008年）

フランセス・ムア・ラッペ（鶴見宗之介訳）『世界飢餓の構造：いま世界に食糧が不足しているのか』（三一書房、1988年）

国連WFP <http://ja.wfp.org>

Food and Agriculture Organization of the United Nations www.fao.org

9 : 備考等